

領域	統合分野	授業科目	在宅看護論Ⅲ	単位 (授業時間/時間数)	1 (28/30)
開講年次	2年次	開講時期	通年	授業回数	14回
担当講師名	専任教員		講師所属	福岡水巻看護助産学校	
特記事項	実務経験のある教員による科目			臨床(病院)での看護師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行なう	

授業のねらい

在宅医療の進歩や介護サービスの普及で在宅療養しやすくなったり、終末期の過ごし方を自己決定する意識が高まり、終末期を在宅で過ごしたいと希望する人々が増えている。一方で家族介護の減少で看取りの場は老人介護施設等に広がり、介護保険サービスなどの多様な社会資源を活用して看取りを支える時代となった。在宅ターミナルケアは、療養者と家族が苦痛や不安がなく療養でき、出来る限り本人の希望に沿い、また家族にとっても悔いのない看取りができるよう援助することが必要である。ここでは在宅ターミナルケアの特徴と必要な看護を学ぶ。

在宅看護の看護過程の展開については、在宅酸素療法中の COPD 患者の事例で、在宅での病状や医療器械の管理に加え、介護負担や家事家政の不足など在宅特有の療養上の問題を学び、他職種と連携して在宅療養を支えていることを理解する。

また、グループでの訪問看護演習を通して訪問看護での望ましいマナーや接遇を身につける。

授業目標

在宅でのターミナルケアの特徴が理解できる。また、訪問看護での望ましい接遇を身につけ、在宅で生活する人その家族の特徴を踏まえた看護過程の展開の方法を理解する。

授業概要

1. 在宅ターミナルケア
 - 1) 何が違う!? 在宅ターミナルケア
 - 2) 死に向かう療養者に訪問看護ができること
 - 3) 家族が死ぬということ
 - 4) 看取りの各段階ですべきこと
 - 5) どうする!? 在宅での癌の看取り～看取りに必要な法制度の知識
 - 6) 事例を読んで考えよう!
2. 在宅看護での看護過程展開～「在宅酸素療法中の T さん」
 - 1) 情報収集は何かから?
 - 2) 在宅特有の看護問題
 - 3) 在宅療養マップを書こう!
3. やってみよう! 訪問看護演習

訪問看護でのマナーや接遇を考える。療養者と家族の気持ちを考える。

【担当からのメッセージ】

在宅看護論の最終科目です。在宅ターミナルケアを学んだ後、ペーパーシミュレーションで看護過程展開したり、訪問看護演習で、実習に役立つ実践的な力を身につけましょう。

授業の進め方

講義、演習(ロールプレイ)発表、看護過程展開レポート

教科書

ナーシング・グラフィカ 在宅看護論 [1] 地域療養を支えるケア (メディカ出版)

参考図書

写真でわかる訪問看護アドバンス(Web 動画付) (インターメディカ)

評価方法

終講時客観式テスト・演習・看護過程レポートでの総合評価 (100 点) * 試験時間は時間数に含む。